

## 用語の解説

### あ 行

#### RDF (アールディーエフ)

Refuse Derived Fuelの略、可燃ごみ及びプラスチック系ごみを、破碎・選別・乾燥・成形して得られた固形燃料

### か 行

#### 通い箱

ビールなどの飲料品を、卸元から小売店へ、小売店から需要先へ配達した後、そのまま空きびんを回収するのに使う箱のこと。

### さ 行

#### 推定線

推定線は、5種類を用いて推定を行う。これは、「ごみ処理施設構造指針解説(社団法人全国都市清掃会議)」に掲載された方法である。

(以下に表す a、b、c は、変数)

##### 1次傾向線による推定

過去の実績を用いて直線式(1次方程式: 推定値 = a × 年数 + b)に当てはめて推定。増加又は減少傾向がはっきり出る。ただし、実績に増減がある場合は正確さが劣る。

##### 2次傾向線による推定

過去の実績から2次曲線式(2次方程式: 推定値 = a × 年数<sup>2</sup> + b × 年数 + c)に当てはめて推定。実績が緩やかな曲線を描く場合は、ある程度正確であるが、増減を繰り返す場合や、増加の後に減量になる場合などは傾向が極端に出る。

##### 1次指数曲線による推定

過去の実績から1次指数曲線式(推定値 = a × b<sup>年数</sup>)に当てはめて推定。実績の増減値が等比級数的(ある程度極端な増減)な傾向がある場合は正確さがあり、これ以外では極端な傾向となる。

##### べき曲線による推定

過去の実績から、べき曲線式(推定値 = 初期値 + a × 年数<sup>b</sup>)に当てはめて

推定。初年度近辺の値に対して年数が増えるごとに、ある一定のべき係数( b 乗)で増又は減を繰り返す式であり、比較的あてはまりがよい傾向にある。

#### ロジスティック曲線による推定

過去の実績からロジスティック曲線式( 推定値 =  $K \div ( 1 + e^{(b - a \times \text{年数})} )$  ) に当てはめて推定。K は一定数、e は自然対数の底( 基準値 ) を表す。この数式は一定数K に収束するような推定となる。

### スクラバー

排気ガスに含まれる有害物質除去装置の一つ。

水などの液体を洗浄液として、排ガス中の粒子を洗浄液の液滴や液膜中に捕して分離をする装置で、洗浄集じん装置ともいう。

### スラグ

直接溶融炉やガス化溶融炉で溶融されたごみの中の不燃物の内、非金属無機物や金属酸化物を主体とするものをいう。

平成17年7月20日に、規格番号JISA5031( 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材 ) 及び規格番号JISA5032( 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化した道路用溶融スラグ ) が制定された。

## た 行

### チャー

ごみの熱分解ガス化の際に生成する炭素物質

### デポジット制

一定の金額を預かり金( デポジット ) として販売価格に上乗せし、製品( 容器 ) を返却すると預かり金を消費者に戻すという仕組みのこと。現在、全国規模のデポジット制度が確立されているものに、ビールびんや清涼飲料びんなどの、ガラスびん容器などがある。

### テフロン

フッ素樹脂( 4 フッ化エチレン樹脂等 ) の商品名

## な 行

### 熱回収施設

循環型社会形成推進交付金に係る計画において、廃棄物を焼却し蒸気エネルギーを回収し、温水利用や発電等の余熱利用を行う施設をいう。エネルギー回収施設の一つ。

## は 行

### PE：ポリエチレン

エチレンを重合した熱可塑性樹脂をポリエチレン

### PP：ポリプロピレン

プロピレンを主体とする重合体

### PS：ポリスチレン

代表的な熱可塑性樹脂の一種でスチレン及びその誘導体を主体とする重合体

### PVC：塩化ビニール

塩化ビニールの重合体

### PET：ポリエチレンテレフタレート

ポリエステル的一种。

### PVDC：ポリ塩化ビニリデン

## ま 行

### 見かけ比重

物体の重量を、その見かけ容積と同じ容積を持つ4℃の水の重さで割ったものをいう。

## ら 行

### リターナブル

リターナブルという言葉は、「返却できる」という意味で、リターナブル容器とは、使用后、そのまま回収し洗浄され、再び製品を詰め直すという過程を繰り返して、使用される容器のこと。